

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	19900 環境美化推進事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
基本施策		23	良質な環境の保全	根拠法令	一般	4	1	4	☒ 主な事業
施策の展開		42	きれいなまちづくりの推進	戦略事業	200	きれいな旭をつくる運動推進要綱			☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開				戦略事業		環境ボランティア活動の支援			☒ 新市建設計画
									☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	きれいな旭をつくる運動を推進するための、きれいな旭をつくる会(委員25名、市長が会長、事務局は環境課)に対する運営補助を行う。 事業内容 ①ゴミゼロ運動 春と秋の年2回開催する。朝8時～9時まで区・自治会ごとにゴミ拾いを行う。 ②花いっぱい運動 春(3月)又は秋(10月)の年1回花の苗木を配布・植替えを行う。 ③環境衛生大会の開催 講師を招いて講演会の開催、環境美化活動功労者の表彰、環境美化に関する標語優秀者を表彰する。 ④環境ボランティア登録団体・環境美化モデル地区の育成 日常的にきれいな旭をつくる運動の一環として、公共的な場所(公園・道路・河川・ため池・海岸等)の定期的な清掃活動や、美化及び緑化活動を行う区・自治会を環境美化モデル地区、ボランティア団体を環境ボランティア団体として登録し、活動実施人数によって報奨金を支給しボランティア活動を支援する。	市民の環境に対する意識の高揚と自主的な活動の活性化を目指して始められた。	ボランティア活動従事者は開始時期と比べ増えてきている。一方で高齢化により活動ができなくなってしまう団体もある。	花いっぱい運動参加者からは、「ありがとうございます。来年もまたお願いします。」などの意見がある。その一方で、「毎年同じ事業の繰り返しではないか」といった意見もある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)		単位:千円	
1.きれいな旭をつくる会補助金	3,669	きれいな旭をつくる会委嘱式及び総会等会議お茶代	
		ゴミゼロ運動袋代 花いっぱい運動苗木代 ゴミ捨て防止看板作成費用等	
		環境衛生大会開催にかかる費用	
		ゴミゼロ運動のチラシ作成費用	
		環境美化モデル地区・環境ボランティア団体報奨金	
② 特定財源の内訳(29年度の決算)		単位:千円	
1.国庫支出金	0		
2.都道府県支出金	0		
3.地方債	0		
4.その他	3,668	地域振興基金繰入金	

事業費	費目内訳	単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)
		千円	3,607	3,516	3,474	3,669	3,858
財源	1. きれいな旭をつくる会補助金	千円					
	2. 国庫支出金	千円					
	3. 都道府県支出金	千円					
	4. 地方債	千円					
	5. その他	千円			3,474	3,668	3,858
	6. 一般財源	千円	3,607	3,516	0	1	0
事業費計 (A)		千円	3,607	3,516	3,474	3,669	3,858

前年度増減理由	環境衛生大会における新たな表彰部門の創設、不法投棄防止看板購入等により増加。
---------	--

従事職員数	常時	2人	最大	17人	×	3日	=	延べ	51人
-------	----	----	----	-----	---	----	---	----	-----

前年度増減理由	環境衛生大会における新たな表彰部門の創設、不法投棄防止看板購入等により増加。
---------	--

従事職員数 常時 2人 最大 17人 × 3日 = 延べ 51人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

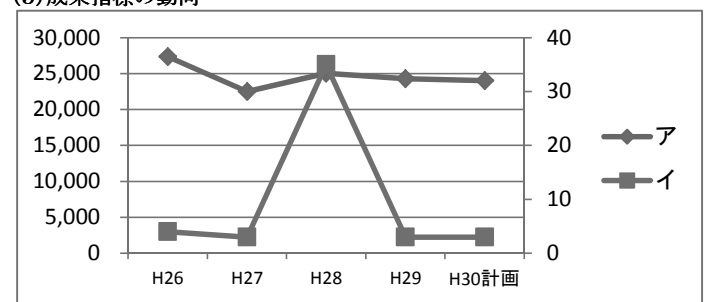
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	29年度実績(29年度に行った主な活動)							
目的	①ゴミゼロ運動(2回)	ア ゴミゼロ運動の延べ参加者数(春、秋の2回実施)	人	18,406	16,878	16,707	17,646	17,500
	②海岸清掃(1回)	イ 環境モデル地区数+環境ボランティア団体数	区	36	40	42	39	39
目的	③花いっぱい運動(1回)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	④環境衛生大会の開催							
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	ア ゴミゼロ運動時のゴミ収集量(春、秋の2回実施)	kg	27,340	22,510	25,040	24,290	24,000
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 新規登録環境モデル地区数+新規登録環境ボランティア団体数	団体	4	3	35	3	3
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)							
	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)							

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ
【コメント】 (低下の場合、その理由)	環境モデル地区、環境ボランティア団体ともに指定期間が3年となっており、新規申請の多い年が3年毎(直近では28年度)にあるため、29年度は申請数減となった。さらに3年前(25年度)の実績は16件であった。
③ 今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)	時期 内容
	①ゴミゼロ運動(2回) ②海岸清掃(1回) ③花いっぱい運動(1回) ④環境衛生大会の開催